

地域・学校協議会の活動推進キャッチフレーズ

あわら市金津東小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	4回(のべ)4日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	63人
授業ボランティア(含:低ボラ)	48人
登下校支援ボランティア	8人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ 「登山などを通したふるさと教育」

具体的活動内容

今年度から2年間、道徳教育実践健研究の指定を受け教育活動を進めている。その一つの活動として、以前から行っている”地域の豊かな自然を生かした教育活動”を道徳に生かす活動を取り入れている。そのねらいは、地域の方々の自然を守る強い思いとその活動を道徳の重点目標「思いやりの心」につなげた充実した道徳教育である。

劔が岳登山を通したふるさと教育

道徳の研究目標「つながる～相手の立場に立って行動する子の育成～」を目指した学習の一つとして、本校の北東に位置する劔が岳(標高568m)に4年生全員が登山を実施した。地域・学校協議会の方々や劔岳文化共栄会(森林組合)のボランティアの方々のご協力を得て、郷土の自然を守る心に触れる機会を設けた。

登山を行う前に、自然を守る心やふるさとを思いやる心を感じさせる道徳授業を行う。主題は「自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする」とし、協議会の方にゲストティーチャーとして来ていただき、山を守り育てる活動を中心に話しをしていただいた。



登山は5月27日(金)に行われたが、ボランティアの方は数週間前から、林道の整備や危険箇所の安全点検など細部にわたり気を配っていただいたり、山の状態を確かめたりとその準備に心を砕いていただいた。

登山当日は、曇り空の中 山の森林の美しさやそこに生きる小動物や生き物を間近に見ることができた。人間が手を入れず自然のままにした状態の荒れた山を見ることができ、改めて地域の人のふるさとを思う心の深さに子どもたちは感動した様子だった。

成果と課題

登山という山と触れあう活動や地域の山の実りに感謝するお祭りに参加する活動を通して、多くの方がふるさとの良さを思いやる活動に触れることができた。今後、4年生の自然を大切にするふるさと教育にとどまることのないようにしたい。10月に親子でウォーク(ウォークラリー)を計画したが、あいにくの天候でできなかった。今後は、登山だけでなく、協議会の力をお借りしながらふるさとの文化や伝統にも触れさせていきたい。